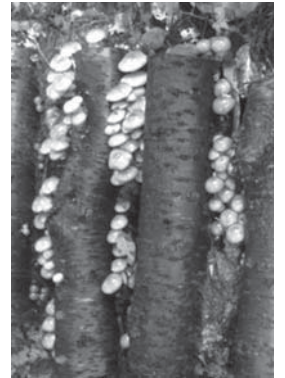




▲しいたけ・なめこ栽培教室には、29組56人が参加し、栽培・管理方法を学びました。



▲しいたけの原木



▲なめこの原木

市民特派員のまちかどレポート

しいたけ・なめこ栽培教室に参加して

2月19日(日)、周防の森ロッジで開催された「しいたけ・なめこ栽培教室」に、娘と一緒に参加しました。この教室は、しいたけやなめこの栽培・管理方法を学ぶことで、森や木々の恵みに触れ親しみ、興味をもってもらうことを目的に、市林業研究会の皆さんの指導により毎年開催されています。

森林保全のため、原木には主に間伐材を使用しているそうで、なめこの原木には市内産の山桜の間伐材を活用しました。

種駒を打ち込むのは、「千鳥植え」という方法で、穴の位置が交互になるよう原木に印をつけてからドリルで穴を開け、その穴にハンマーでたたきながら1個ずつ種駒を打ち込んでいきました(上記写真参照)。初めての体験で不安でしたが、丁寧な指導のもと3本の原木にしいたけの種駒を打ち込むことが

できました。

参加者の中には親子で作業に取り組む姿も見られ、私自身も子どもと一緒に学び、楽しみながらよい体験をすることができました。

原木は各家庭に持ち帰り、教わったとおりに自分で管理し、しいたけやなめこが出来るのを待ちます。大きく肉厚のおいしいしいたけが食べられるのは、来年の秋以降ですが、今回学んだことを娘と二人で家族に伝え、木々の恵みに感謝しながら、みんなで食べられる日を楽しみに待ちたいと思います。

今回の取材は

浦谷 利矢子 さん
(室積)

